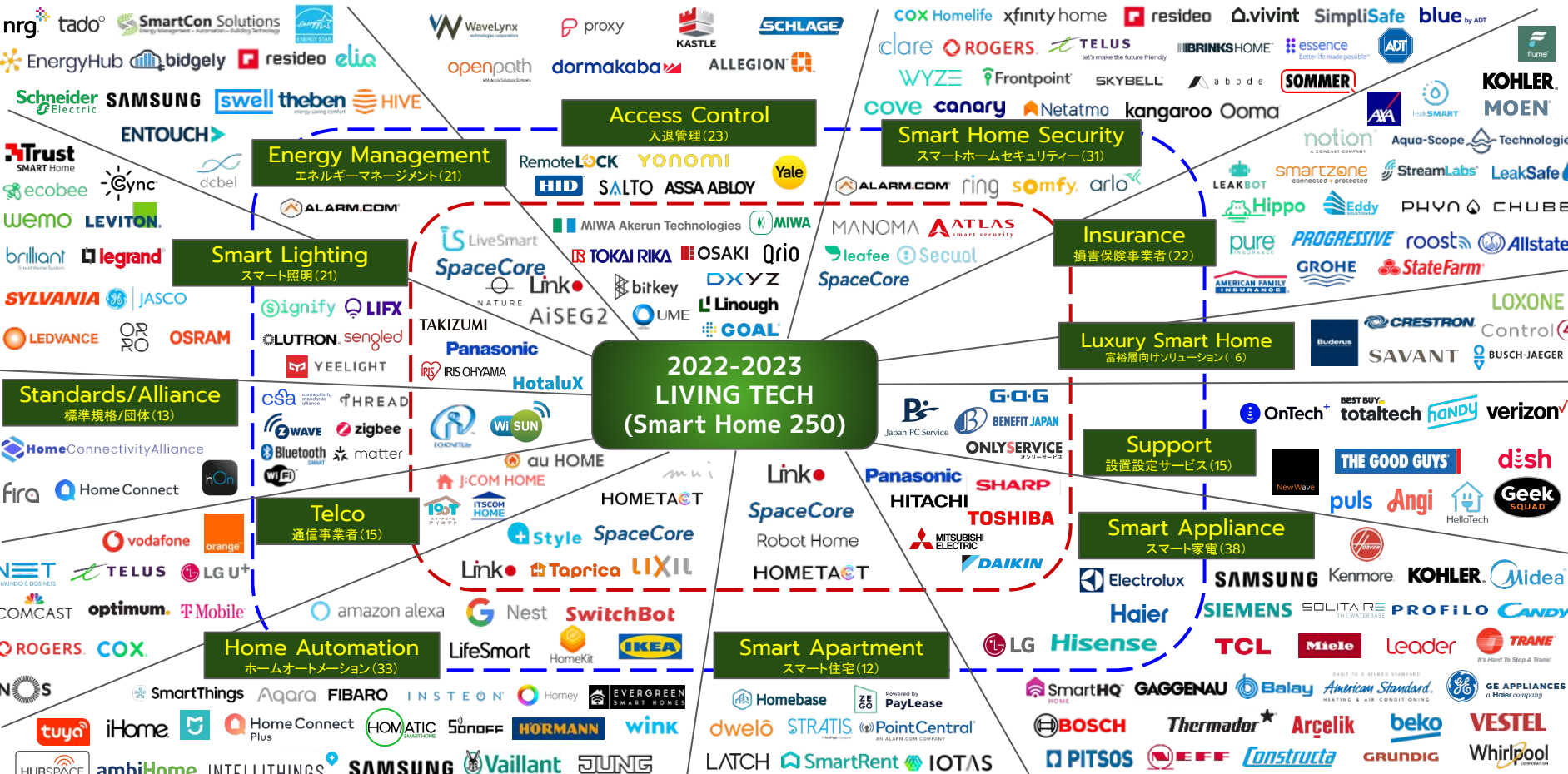


スマートホームカオスマップ第1版

Japan

Non-Japanese
Launched in Japan

LIVING TECH
ASSOCIATION JAPAN



① Smart Lighting スマート照明

- ・利便性を感じやすい照明は需要が高くプレイヤーも多数
- ・スマホのようなタッチディスプレイ型壁スイッチも人気
- ・節電効果も期待

② Energy Management エネルギーマネージメント

- ・ヨーロッパは以前から関心高い
- ・北米では盛り上がり欠けていたが昨今注目の領域

③ Access Control 入退管理

- ・様々なエコシステムに繋がる
- ・一時利用できるデジタルキーの提供がトレンド
- ・今後、新たな施錠手段や標準化が進みそうな領域

④ Smart Home Security セキュリティ

- ・セキュリティ+スマートホームは王道の訴求方法
- ・堅実にシェアが伸びている
- ・DIYの選択肢も多数

⑤ Insurance 損害保険事業者

- ・IoTによる早期発見で保険金支払いを低減
- ・損保が漏水センサー等を保険にバンドル/利用前提に保険料を割引くトレンド

⑥ Luxury Smart Home 富裕層向けサービス

- ・米国を中心に普及
- ・シアタールームやAV連携
- ・利用料も高額だが需要あり

⑦ Support 設置設定サービス

- ・有償でも設置/設定をして欲しい顧客ニーズが増加
- ・月額固定型のサービスやC2C型のプラットフォームなども登場

⑧ Smart Appliance スマート家電/ネットワーク家電

- ・欧米では繋がる家電が当たり前
- ・データ分析してAIが自動設定、節電するなど先回りした家電がトレンド

⑨ Smart Apartment スマート住宅

- ・北米で急増するソリューション
- ・上場企業も
- ・もはや新築住宅のスマート化は当たり前化の北米市場

⑩ Home Automation ホームオートメーション

- ・DIY中心のラインナップ
- ・API提供のプレイヤーが多数
- ・各社順調に成長

⑪ Telco 通信

- ・通信サービスはコモディティ化
- ・映像サービスはOTTストリーミングで多様化
- ・電話サービスは衰退が進むため、スマートホームは差別化サービスとして注目

⑫ Standards/ Alliance 標準規格/団体

- ・遂にリリースされたCSAが標準規格/団体化したmatter
- ・世界の家電メーカーが手を組むHome Connectivity Alliance
- ・鍵いらずの生活を実現するFiraに注目
- ・世界が手を握って天下統一に進む中、日本陣営は出遅れ？

掲載ガイドライン

以下に該当する製品、サービス、ソリューションを掲載しています。

- ・単体でネットワークに接続でき、WEBサイトやアプリで管理できる仕組みを持つ、新たな顧客体験を提供している
- ・システム連携などにより、製品やサービスがコネクテッド(接続)され、連携・連動することで新たな顧客体験を提供している
- ・AI、IoT、センシングなど、現時点において先進的なテクノロジーを活用することで新たな顧客体験を提供している
- ・API連携などで他メーカーの機器を接続連携することで、新たな顧客体験を提供している

※企業名よりもプロダクト、サービス、ソリューションの方が理解しやすい場合は企業ロゴではなく製品ロゴ、サービスロゴで掲載しています。

掲載ロゴ・サービス名称・分類について

- ・掲載されている会社名および商品・製品・サービス名・ロゴマーク等は、各社の商標または各権利者の登録商標です。
- ・本カオスマップは当協会が独自で作成したものととなり、網羅性・正確性を保証するものではありません。
- ・また、ロゴの大きさや配置等、業界規模やシェアとは関係性はありません。
- ・本マップ記載のロゴ・サービス名につきましては、各社に掲載許諾を事前に得ていないものもありません
- ・掲載に問題がある場合や、次回更新時に掲載を希望する場合は、お手数ですがinfo@ltajapan.comまでご連絡ください。